

シルバーだより 春日井

題字作成者：前田啓子 会員

会報誌 NO.7

令和6年春号



人がつながる。知識ひろがる。



お花見&交流会

■ 新年度のご挨拶

会長 早川 利久

会員の皆様には、日頃から、当センターの事業運営にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、少子・高齢化が進展する現在、高齢者がいきいきと活動できる場の確保が地域の発展には不可欠となっており、シルバー人材センターは、その活動の場のひとつとして、全国で、約1340団体が組織され、約68万人の会員が活動しています。

当センターにおきましても、シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」を念頭におきながら、会員の皆様が、より安全で、安心して就業いただけるよう「安全就業」を第一として、良質な就業環境を確保するため、役員と事務局が一体となって新年度事業に取り組んでまいります。

また、今年度の秋頃には、新しい法律の施行に伴う請負契約の見直しが予定されています。これについては、できる限り、会員の皆様のご負担にならないよう制度設計を進めてまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今後も、会員の皆様が充実した日々を過ごしていただけるよう祈念いたしまして、新年度の挨拶とさせていただきます。



春日井市長 石黒 直樹

貴センターにおかれましては、日頃から高齢者の就業機会の提供と社会参加の推進にご尽力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

人生100年時代を迎える中、高齢者がいつまでもいきがいを持ち、活躍できるまちづくりを推進するため、貴センターにおける市民の多様な社会参加を進める拠点としての役割は今後ますます大きくなるものと考えられます。会員の皆様方におかれましては、豊富な知識・経験・技能を生かしながら、地域社会の一翼を担っていただき、様々な場面でご活躍されますことを心から願っております。

高齢者が心豊かに暮らしていくためには、人と人とのつながりや、いきがいを持つことが大切です。このため、本市では、誰もがいきがいを持ち、共に支え合う「地域共生社会」の実現に向け、第9次春日井市高齢者総合福祉計画を本年3月に策定しました。引き続き、様々な高齢者福祉政策を推進してまいりますので、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、貴センターのますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を願ひまして、ご挨拶いたします。



令和5年度 愛知県シルバー人材センター事業推進交流大会

愛知県シルバー人材センター連合会主催のもと、長年にわたり功労のあった、愛知県内のセンター役員及び会員が表彰されたほか、蒲郡市シルバー人材センターの事例発表がありました。当センターからは、以下の皆様が表彰を受けました。

開催日 令和5年10月17日(火)

場所 愛知県女性総合センター(ウィルあいち)ウィルホール



梅村 峯之 会員

受賞おめでとう
ございました

(敬称略・順不同)

- 模範会員
 - 梅村 峯之
 - 木野瀬 茂
 - 服部 博彦
- 長寿会員
 - 坂中 弘子
- 模範会員
 - 生田 勝枝
 - 伊藤 銀重
 - 鵜飼 輝明

★愛知県シルバー人材センター
連合会会長表彰

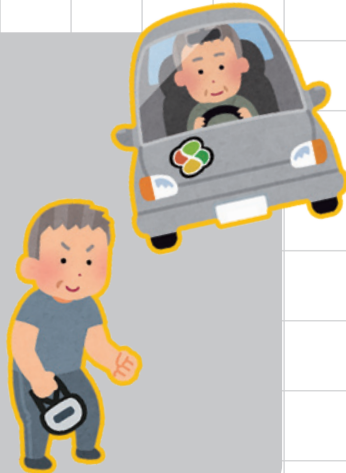
- 模範会員
 - 黒田 洋子
 - 小倉 龍雄
- 長寿会員
 - 安形 溢孝
- 模範会員
 - 高木 敬子

顕彰者

講習会・講座案内

講習会

- 応急手当講習会
6月中旬頃 15名程度
- 自動車運転講習会
9月中旬頃 80名程度
- 体力測定
9月下旬頃 30名程度



※日程が決まり次第センター事務局より案内します。

講座

講座は、老人クラブ会員も受講することができます。ご家族ご友人お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

開催予定講座・募集人数：各講座20名程度

- 教養講座
- スマホ講座
- 家庭菜園講座
- 終活講座
- パソコン講座
- フラワーアレンジメント講座

※後日改めてセンター事務局よりご案内します。

互助会活動案内

活動報告

春日井まつりの、清掃ボランティア活動及び互助会花見会を実施いたしました。ご参加いただいた互助会会員の皆様方、まことにありがとうございました。

次回は春日井納涼まつりを控えておりますので、春日井納涼まつり後の清掃ボランティアへのご参加をお待ちしています。



今後の互助会活動について

- 春日井納涼まつり後におけるボランティア清掃活動
7月下旬頃予定
- 親睦旅行
計画中

互助会活動に関して、ご意見、ご要望がありましたら、互助会役員もしくはセンター事務局へ、電話、FAXまたはメールによりご連絡ください。

■ 安全就業スローガン

前号で、会員の皆様から安全就業スローガンを募集したところ、短い期間ながら、多くのご応募をいただきました。ご協力をいただいた皆様、素晴らしい作品をありがとうございました。

いただいた作品の中から、安全委員会で選考を行った結果、次のとおり、令和6年度安全就業スローガンを選出させていただきました。

最優秀

『安全は 急かさず 無理せず 怠らず』

(芝田 周而 会員寄稿)

優秀

『今さら 安全安心 心掛け』

(三宅 義員 会員寄稿)

今年度は、このスローガンを合言葉に、安全就業を推進してまいりますので、会員の皆様も、「安全第一」を心掛けましょう。

また、次回の令和6年秋号で、次年度のスローガンを募集させていただきますので、会員の皆様には奮ってのご応募、よろしくお願いいたします。

■ Smile to Smile サービスについてのお知らせ

当センターでは、会員の皆様と事務局をつなげるコミュニケーションツールとして「Smile to Smile (スマイル トゥ スマイル)」サービスを提供しています。スマホやパソコンからアクセスすると、センターからのお知らせ、最新の就業情報やご自身の配分明細などを確認することができます。

現在この「Smile to Smile」には、当センターの約3割にあたる会員の皆様にご登録いただいておりますが、今後「Smile to Smile」の機能を一より層拡充し、さらなるセンター事業との連携を強化していきますので、できる限りのご登録をお願いいたします。

またすでにご登録されている方で、「登録しているかどうか覚えがない」「登録をしたがログインIDやパスワード、登録したメールアドレスがわからない」という方は、事務局へお問い合わせください。

事務局では、登録手続きや登録内容の確認などのサポートも行っていますので、お気軽にご相談ください。

■ 春日井市シルバー人材センター Smile to Smile 加入状況

総会員数	Smile to Smile 加入者
780名	225名

※令和6年3月1日時点



登録をお願いします！

■ 会員紹介

小林 敏春 会員

シルバー人材センターで仕事を始めて今年は10年目になります。私は草刈り班で仕事をしていますが仕事を始めた当初は、当時の草刈り班の班長の指揮の下で作業をする立場でしたが、今では班長の重責を担う立場となりました。10年前と比べて、班長としての仕事も増えた今は大変ですが、やりがいを感じています。

もう10年いや、20年シルバー人材センターで働くことを目標に日々精進してまいります。



川口 栄子 会員

シルバーに入会してかれこれ15年ほど工房で、バッグやポーチなどのモノづくりを楽しんでいます。作品が誰かを楽しませている、着飾っていると思いい、作品作りに頑張っています。

最近工房で新しく犬の服を作るようになり、つい最近まで犬を飼っていた経験を活かし、より良いものが作れるように頑張りたいと思います。



■ 会員作品ひろば



手乗りヤマガラ(大谷山にて)

今枝 順児 会員



明けましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
昨年1月から春日井市シルバー人材センターで
個人邸をメインに庭木の剪定作業に励んでいます。
仕事の合間に思い浮かんだ情景を川柳に詠んで
楽しんでいます。
初笑い、ご笑味ください。
2024年元旦

- ① 癒されて 庭木と語らう 日々楽し
(やり甲斐・生き甲斐)
- ② 樹も同じ 十人十色の 味がある (個性豊か)
- ③ 覚え立て 何でもかんでも 丸坊主
(若葉マーク)
- ④ 枝透かし 見上げる空は 日本晴れ (剪定冥利)
- ⑤ 電動化 姿を消した 両手ハサミ (時のながれ)
- ⑥ 歳と共に 背丈縮める 庭木かな (庭木も終活)
- ⑦ どう読むか? 潜む危険は 眼に見えぬ
(怪我して猛)
- ⑧ 若葉萌え 腰のハサミも 躊躇する (春の足音)



川柳集(2024年の年賀状にて)

今岡 清夫 会員

■ 掲載作品大募集

会員の皆さん、「シルバーだより春日井」に自分の作品を披露してみませんか?多数の応募をお待ちしています!!

例)☆絵画作品 ☆立体作品 ☆手芸作品 ☆写真 ☆書道 ☆和歌・俳句・川柳 ☆イラスト

…その他どんな作品でもかまいません!応募はセンター事務局まで!

安全だより春日井

安全衛生コラム

転倒事故の予防について

近年、愛知県内のシルバー人材センターでは、転倒事故が非常に多く発生しています。また、春日井市シルバー人材センター内でも転倒による傷害の事故報告を数件頂いております。人間は加齢とともに、筋力の低下や、歩行障害、視力の衰えなどさまざま要因が重なり、バランスを保ちにくくなり思わぬ場所で転倒事故が発生することもあります。今回は転倒の予防法の一例を紹介します。

1つ目の予防策は、加齢による「心身機能の低下」を認識することです。

年々、心身機能は衰えていきます。意識と身体とにズレが生じ、大丈夫と思っていても、身体がうまく動かないことも出てきます。

それを防ぐために、日頃からウォーキングやストレッチをして自分の身体の状態を確認するとともに、身体を動かせるように鍛えておきましょう。



2つ目の予防策は、「注意力を持つ」ことです。

事故の調査の聞き取りで、会員自身が事故原因として「注意が足りなかった」「大丈夫だと思った」という言葉をたびたび聞きます。当センターの事故でも、7~8割はあと少し注意していれば防げた事故だと思われます。



3つ目の予防策は、転倒しにくい靴下や靴を選ぶことです。

筋力が低下すると足が上がりやすく、すり足になりがちのため、多少の段差でもつま先が引っかかって転倒しやすくなります。

靴下や靴を選ぶときは、つま先が自然と反り上がる構造のものとすると、つまずきにくく歩き出しもスムーズになるでしょう。

また、靴底や足裏にすべり止めが付いているタイプのものなら、足をすべらせて転倒する可能性も低くなります。

熱中症予防について

これから季節は夏へと移ろい、どんどん気温が急上昇します。我々が快適な環境で業務に取り組むためには、熱中症対策が欠かせません。日本の気候は変化しやすく、急激な気温上昇によって熱中症のリスクが高まります。熱中症から身を守るための基本的な対策と注意点についてお伝えします。

熱中症とは

屋外だけでなく**室内でも**、高温や多湿の環境下で、体内の水分や塩分が過度に失われ、体温調節機能がうまく働かなくなって起きる、さまざまな障害（体温が著しく上昇する等）の総称です。

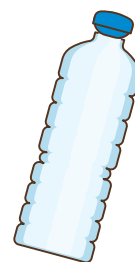
熱中症の症状



頭痛・脱力感・めまい・大量発汗・熱ケイレン・嘔吐など、様々な症状が発生し重症の場合は、命にかかわる事もあります。

熱中症予防の為の5か条

1. 暑い場所での長時間労働を避け、いつもより多めに休憩を取る。
2. 小まめに、水分（塩分）を取る。（塩分制限をしている人は、あらかじめ医師に相談しておきましょう。）
3. 冷却シート等で身体（特に首周り）を冷やす。
4. 通気性や速乾性に優れた生地の上着を着用する。
5. 扇風機やエアコンを適度に使い、睡眠環境を整える。



会員の皆さん、暑い夏を乗り切りましょう！

事故報告 9月～2月

- 除草作業中、トラックの荷台に積んである道具を、荷台の下のバーに足をかけて取ろうとしたところ、足が滑り荷台で胸を打ち、肋骨に亀裂骨折を負った。
- 除草作業中、手で握り束ねた草が思いのほか太く固く、草刈鎌が草の上を滑り、草刈鎌で、装着していた手袋ごと左手薬指を切りつけて切創を負ってしまった。
- 派遣先で脚立に乗って自動車の洗車作業をしていたところ、バランスを崩し、地面に落ち、左手をついた際に手甲の骨折を負った。
- 派遣先のバックヤードから空の台車を運んでいたところ、足がもつれて転倒した。その際に左手をついたところ、左手薬指に亜脱臼を負った。
- ハンマーモアで草刈り作業中に後退しようとしたところ、足がもつれて転倒してしまった。転倒しているため、動いているハンマーモアの緊急停止装置を 작동することができず、ハンマーモアが身体（下半身右大腿部）の上に乗り上げ通過し、刈刃部分が右大腿部に接触し、右大腿部挫滅創を負った。
- ガードレールの塗装作業中、歩道に面する法面にて休憩後、作業に戻る際に法面の排水枡に躓き転倒、乾いて鋭く張り出した草根の上に右手掌をついてしまい、4針縫う裂傷を負った。
- 出勤途上で、自転車に乗り歩道を走行中、地下道から出てきた歩行者と接触しそうになったため、急ブレーキを掛けたところ、転倒してしまい左肩を打ち腱板断裂を負った。

転倒事故多発中！足元に気を付けて！

就業安全パトロール報告 9月～2月

■ 剪定現場 22 か所 ■ 除草現場 10 か所 ■ 清掃現場 2 か所 ■ ペンキ現場 5 か所
■ カート現場 4 か所 ■ その他現場 4 か所 3月1日時点

- 非常に暑い中作業を行っているので、こまめな休憩と水分補給を心掛けてもらうようお願いした。
- バリカンでの除草作業中に、脛あてを付けずに作業を行っている会員がみえたので、着用し作業にあたっていただくよう注意指導を行った。
- 前腕を露出させて作業を行っている会員がみえたので、長袖等の肌の露出を抑える服装で作業してもらうようお願いした。
- 現場にて安全委員がハチの巣を発見。巣の場所はすでに作業済みであったので、巣の確認をせず作業を行っていたのだと思われるので、今後注意するようお願いした。
- ヘルメットを着けずに作業を行っている会員がみえたので、着用し作業にあたっていただくよう注意指導を行った。
- 剪定の機械作業中、保護メガネを着用せず行っている会員がみえたので、ヘルメットに付属しているフェイスガードを使用するよう注意指導した。

★ 安全就業指導員からの一言

事故なく安全に就業するために大切なことは、会員自らの「事故をおこさない。事故にあわない」という意欲です。「人から言われたから気を付ける」では事故は無くせません。こういう時はどうすべきかを自ら考え実行することです。そういったやる気(意欲)を、これから先も今まで以上に持ち続けていけば、事故を防ぐことができると確信しています。



大竹 信二 指導員

会報誌「シルバーだより春日井」に関して、ご意見、ご要望等ありましたら、電話かFAX、またはメールによりご連絡ください。

(公社)春日井市シルバー人材センター事務局

〒486-0811

春日井市東山町 2277-1

TEL : (0568)84-3515 FAX : (0568)84-3125

Mail : kasugai@sjc.ne.jp